

報道関係者各位

十和田市現代美術館 開館 10 周年記念企画展のご案内

# スウ・ドーホー : Passage/s パッセージュ

2018年6月2日(土) - 10月14日(日)



《Hub, 310 Union Wharf, 23 Wenlock Road, London, N1 7ST, UK》 Photo by Taegsu Jeon  
Courtesy the artist, Lehmann Maupin, New York, Hong Kong and Seoul and Victoria Miro, London/Venice (参考画像)

## 十和田市現代美術館の 10 周年を記念して開催！！

### アジアを代表する世界的美術家、スウ・ドーホーの個展

本展「Passage/s」で、韓国出身の作家スウ・ドーホーは、その半透明の布を使ったシリーズの最新作を展示します。また彼のロンドン、ニューヨーク、ソウルを移動する中で得られた視点を表現した映像作品も展示します。これらの作品は、いくつかの場所とその文化を経験するときに見えてくるものを通して、人間性やアイデンティティとは何かという、根本的な問いを投げかけるものです。

スウはこれまで、家、物理的な空間、移動、そして記憶といったテーマについて考え、ドローイング、映像、彫刻などさまざまな素材に取り組んできました。スウには、個人と集団の関係性を探るという、もう一つのテーマがあります。そのテーマに沿った作品の一つ、《コーズ・アンド・エフェクト》(2008)が十和田市現代美術館の常設展示となっています。

お問い合わせ

十和田市現代美術館 広報：大谷（おおたに）

Tel. 0176-20-1127 Fax. 0176-20-1138 [press@towadaartcenter.com](mailto:press@towadaartcenter.com) [www.towadaartcenter.com](http://www.towadaartcenter.com)

## 【 展示の内容と見どころ 】

### 1. 新作発表

スウの代表的スタイルである半透明の布を使った大型彫刻作品の新作3点が発表されます。

### 2. 映像作品《My Home/s》初公開

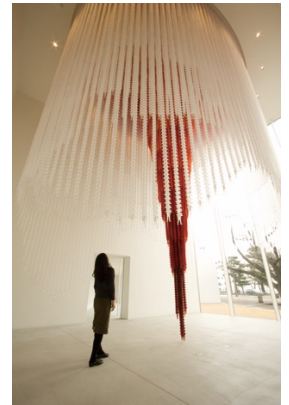
ロンドン、ニューヨーク、ソウルという異なる文化間を行き来する作家の視点をとらえた映像作品が日本で初公開されます。

### 3. 十和田市現代美術館常設作品《コース・アンド・エフェクト》（2008）との共鳴

個と社会をテーマに制作された《コース・アンド・エフェクト》が、スウの他の作品と共鳴しあい新しいイメージを想起させます。

## 【 十和田市現代美術館 常設作品《コース・アンド・エフェクト》 】

高さ9メートルの最も大きな展示室に、スウ・ドーホーによる巨大な作品が展示されています。赤、オレンジそして透明のグラデーションが美しいこの作品は、数万体の樹脂製の人型彫刻が肩車をするように、天井からの華やかさを感じさせる一方で、つねに生と死は表裏一体の関係であり、長い時間の中で連綿と繰り返されていくという、輪廻転生的な考えを表現しています。



《コース・アンド・エフェクト》2008年  
Photo by Mami Iwasaki

Courtesy the Artist and Lehmann Maupin Gallery, New York and Hong Kong

## 【 作家プロフィール 】

### Do Ho Suh スウ・ドーホー

1962年韓国生まれ。ソウル大学校卒業後アメリカに渡り、ロードアイランド・スクール・オブ・デザインで絵画を学び、BFAを取得、イェール・ユニバーシティ・スクール・オブ・アートで彫刻を学び、MFAを取得。ロンドン、ニューヨーク、ソウルを拠点とし、家や家の中のアイテムを象った彫刻と、没入感のあるインスタレーションを通して、異なる文化間を移動するとき感じられる気持ちを表現しつづけている。半透明の布を用いた彫刻のシリーズは、彼がそれまで住んだ空間の手触りと繊細な細部を再現するもの。これらの作品は軽くて持ち運びができ、どんな場所にでも設置できるもので、スウ自身によって「スーツケース・ホーム」と呼ばれている。



Photo by Daniel Dorsa

Courtesy the Artist and Victoria Miro, London and Venice

お問い合わせ

十和田市現代美術館 広報：大谷（おおたに）

Tel. 0176-20-1127 Fax. 0176-20-1138 [press@towadaartcenter.com](mailto:press@towadaartcenter.com) [www.towadaartcenter.com](http://www.towadaartcenter.com)

## 【 関連イベント 】

### オープニングトーク

本展覧会作家のスウ・ドーホーが展示作品について語ります。※通訳あり。

日 時：6月2日（土）10：00 - 10：30

会 場：十和田市現代美術館 市民活動スペース

料 金：無料 ※要企画展チケット

### キュレータートーク

本展覧会キュレーターの金澤韻が展覧会に即した解説を行います。

日 時：10月14日（日）13：00 - 14：00

会 場：十和田市現代美術館 市民活動スペース

料 金：無料 ※要企画展チケット

※上記の他にも、会期中にイベントを予定しています。詳細は後日発表します。

※日時、内容等は変更となる場合があります。最新情報は随時ホームページでご確認ください。

## 【 開催概要 】

|        |   |
|--------|---|
| 展覧会名   | 「スウ・ドーホー：Passage/s パサージュ」                                       |
| 会 期    | 2018年6月2日（土） - 10月14日（日）  |
| 開館時間   | 9:00-17:00（入館は閉館の30分前まで）  |
| 休 館 日  | 月曜日（祝日の場合はその翌日）<br>ただし、2018年8月6日（月）、13日（月）は開館。                  |
| 会 場    | 十和田市現代美術館   |
| 観 覧 料  | 企画展＋常設展セット券 1200円。企画展の個別料金は一般 800円。<br>団体（20名以上）100円引き。高校生以下無料。 |
| 主 催    | 十和田市現代美術館、十和田市  |
| 後 援    | 東奥日報社、デーリー東北新聞社、青森放送、青森テレビ、青森朝日放送、十和田市教育委員会                     |
| キュレーター | 金澤 韻（かなざわ こだま）、南條史生   |

お問い合わせ

十和田市現代美術館 広報：大谷（おおたに）

Tel. 0176-20-1127 Fax. 0176-20-1138 [press@towadaartcenter.com](mailto:press@towadaartcenter.com) [www.towadaartcenter.com](http://www.towadaartcenter.com)

## 【 次回開催展覧会予告 】

2018年度 冬の企画展

## 毛利悠子展 ただし抵抗はあるものとする。 (仮称)

会期：2018年10月27日(土) - 2019年3月24日(日)



《Parade》2011-17年 © Centre Pompidou-Metz

Photo by Jacqueline Trichard, 2017, Exposition Japonorama (参考画像)

国内外で注目を集める新進アーティスト、毛利悠子が、  
世界初の美術館での個展を十和田市現代美術館で開催します！

## 【 作家プロフィール 】

毛利 悠子 もうり・ゆうこ

1980年生まれ。美術家。磁力や重力、光など、目に見えず触れられない力をセンシングするインスタレーションを制作。2015年、アジアン・カルチュラル・カウンシル (ACC) のグランティとして渡米。「リヨン・ビエンナーレ 2017」(フランス)、「コーチ=ムジリス・ビエンナーレ 2016」(インド)、「ヨコハマトリエンナーレ 2014」(神奈川)ほか国内外の展覧会に多数参加。2015年に日産アートアワードグランプリ、2016年に神奈川文化賞未来賞、2017年に第67回芸術選奨文部科学大臣新人賞を受賞。



Photo by Naoko Maeda

※ 展示内容等、詳細は後日改めてお知らせいたします。

お問い合わせ

十和田市現代美術館 広報：大谷（おおたに）

Tel. 0176-20-1127 Fax. 0176-20-1138 press@towadaartcenter.com www.towadaartcenter.com









## 【 広報用図版 】

ご希望画像の作品番号にチェックを入れ、申込みフォームの項目をご記入の上、本用紙を FAX または E-mail にてお送りください。

**FAX : 0176-20-1138 / E-mail : [press@towadaartcenter.com](mailto:press@towadaartcenter.com)**

TEL : 0176-20-1127 / 住所 : 034-0082 青森県十和田市西二番町 10-9

十和田市現代美術館 広報 大谷 行

|   |  |  |
|---|--|--|
| <input type="checkbox"/> 図版 1<br><br>《Hub, 310 Union Wharf, 23 Wenlock Road, London, N1 7ST, UK》Photo by Taegsu Jeon<br>Courtesy the artist, Lehmann Maupin, New York, Hong Kong and Seoul and Victoria Miro, London/Venice (参考画像) | <input type="checkbox"/> 図版 2<br><br>《コーズ・アンド・エフェクト》2008年<br>Photo by Mami Iwasaki<br>Courtesy the Artist and Lehmann Maupin Gallery, New York and Hong Kong  | <input type="checkbox"/> 図版 3<br><br>Photo by Daniel Dorsa<br>Courtesy the Artist and Victoria Miro, London and Venice  |
| <input type="checkbox"/> 図版 4<br><br>《Hub, Wielandstr. 18, 12159 Berlin, Germany》<br>Photo by Taegsu Jeon<br>Courtesy the artist, Lehmann Maupin, New York, Hong Kong and Seoul and Victoria Miro, London/Venice (参考画像)           | <input type="checkbox"/> 図版 5<br><br>《Hub, 3rd Floor, Union Wharf, 23 Wenlock Road, London N1 7ST, UK》<br>Photo by Taegsu Jeon<br>Courtesy the artist, Lehmann Maupin, New York, Hong Kong and Seoul and Victoria Miro, London/Venice (参考画像) | <input type="checkbox"/> 図版 6<br><br>《My Home/s》video 2017年<br>Courtesy the artist, Lehmann Maupin, New York, Hong Kong and Seoul and Victoria Miro, London/Venice |
| <input type="checkbox"/> 図版 7<br><br>《Parade》2011-17年<br>© Centre Pompidou-Metz<br>Photo by Jacqueline Trichard, 2017, Exposition Japanorama (参考画像)  | <input type="checkbox"/> 図版 8<br><br>Photo by Naoko Maeda   |  |

媒体名

媒体ジャンル 新聞/雑誌/美術誌/テレビ/WEB/その他 ( )

御社名

御担当者名

所在地 〒

電話

メールアドレス

## 【 画像ご使用に際して 】

- クレジットは全て明記してください。
- トリミングはご遠慮ください。
- キャプション等の文字が画像に被らないよう、レイアウトにご配慮ください。
- ご掲載の際は恐れ入りますが校正の段階で美術館までご確認ください。

お問い合わせ

十和田市現代美術館 広報 : 大谷 (おおたに)

Tel. 0176-20-1127 Fax. 0176-20-1138 [press@towadaartcenter.com](mailto:press@towadaartcenter.com) [www.towadaartcenter.com](http://www.towadaartcenter.com)